

## 村内の道

村内には琉球王国時代に整備された国指定史跡「国頭方西海道」をはじめ、現代の国道 58 号までいろんな道があります。国頭方西海道は歴史の道と呼ばれ、古道と道に関連する文化財が指定となっています。歴史の道には土道や石畳道になっているところがあります。旧白雲荘一帯の海岸沿いには県道跡やその下から琉球王国時代の道と考えられる構造も確認されています。さらに北側の名嘉真の山中には山を越える道も確認されています。その他には、谷茶の恩納南バイパスの予定地で確認された土を掘って作られた土道や南恩納地区の恩納通信所跡地内には里道があります。南恩納の里道には幅 1m ほどの土を少し盛ったような構造や約 3m の道幅で道の側面に石を並べて貼ってあり、轍（わだち）に何度か石を入れて補修したと思われる道も確認されています。古い道と新しい道の形や構造を比較することで当時の様子が想像できれば面白いかもしれません。



名嘉真にも歴史の道



谷茶から南恩納へかけての古道



近現代の道（道の両脇に石列あり）

## 平成30年度 歴史ロードを歩こう

恩納村教育委員会・博物館では歴史ロードを歩こう事業を毎年5月の第2週土曜日に開催しております。歴史の道 国頭方西海道を散策しながら関連する文化財についてガイドの先生から説明があります。真栄田の一里塚から多幸山のフェーレー岩をとおり山田グスク下を通り仲泊遺跡、博物館までの約 3.5 km を文化財を見て、触れて、体験しながら歩きます。

参加には申し込みが必要となりますので博物館までお問合せください。

**開催日**：5月12日(土)

午前 9 時博物館集合 (9 時～12 時まで予定)

**定員**：50 名

**申込期間**：5月9日(水) まで

(定員になり次第締め切らせていただきます。  
ご理解のほどよろしくお願いいたします。)

**保険料**：20 円 (当日徴収)



村民のみなさまのご参加をお待ちしております。

お問い合わせ：恩納村博物館 ☎982-5112